第3・4学年「自分に合った場で台上前転」－器械運動－

今治市立亀岡小学校　宮谷　拓也

多様な場を用意し、工夫することで、個に応じた指導を行います。単元を通して、全ての子どもが跳び箱運動の楽しさや喜びに触れることができるように、仲間との関わりを大切にしながら学習を進めます。「分かる」「できる」そして、それらの喜びをみんなで分かち合うことができます。

○　単元計画（全８時間）

時	第１時	第２・３時	第４～７時	第８時
はじめ	○　オリエンテーション ・学習の進め方 ・準備や片付け、約束の確認 ・単元前の技の撮影 ３年：開脚跳び（３段） ４年：開脚跳び（４段） 　　　台上前転（４段）	○　運動感覚つくり ・手足走り ・うさぎ跳び ・ケンケン等	○　運動感覚つくり ・ゆりかご ・かえるの足うち	○　お手本動画の撮影 ・手足走り ・ゆりかご ・かえるの足うち ・開脚跳び ・台上前転
なか		○　技能ポイントの確認 （第２・３時：開脚跳び、第４～７時：台上前転） ○　レベルアップタイムⅠ（個人で行う） ○　レベルアップタイムⅡ（グループで行う）		
おわり		○　振り返り（学習カード） ・技能ポイントの自己評価 ・教え名人、上達名人の紹介		

○　運動のポイント

レベルアップタイムⅠ

①易しい場や条件の下で段階的にできる場の設定

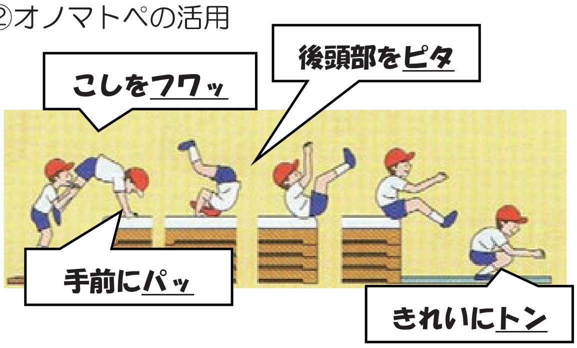
腰を高く

前転のスピード感覚

まっすぐ回る

跳び箱に挑戦

②オノマトペの活用

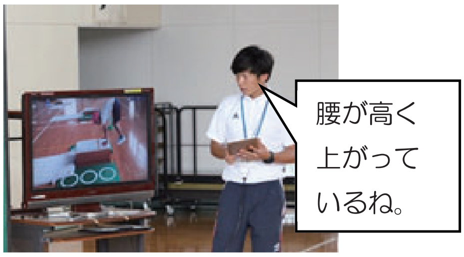


③主体的な学びに向けたICTの活用

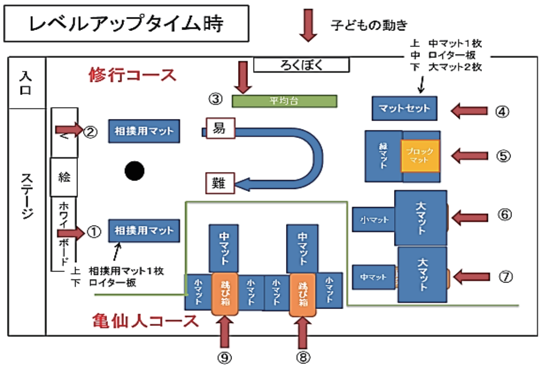
動きのポイントの確認

手本の動きのイメージ化

できるようになるには？

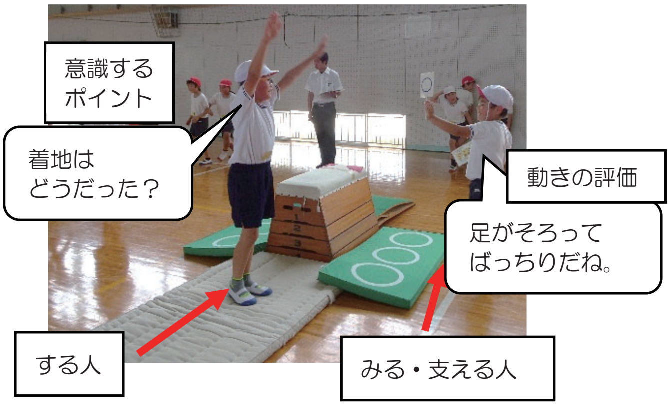


④場の配置図



レベルアップタイムⅡ

①「する人」「みる・支える人」の役割を決めた学習



②○△カード（できた・もう少し）カードの活用